

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
労働法	西川 昇吾	講義	4		1, 2, 3	1, 2, 5	2, 3, 4
授業概要 授業目的	<p>本講義では、労働法、とりわけ、その中心部分を占める雇用関係法（使用者と労働者の関係を規律する法領域）および労使関係法（労働組合と使用者の関係を規律する法領域）の基礎的事項や重要判例を解説する。具体的には、毎回、レジュメを配布するが、板書等も用いて補いながら、学修すべき内容を口述で伝達する。</p> <p>それにより、労働法における正確な知識や概念等を摂取し、それらを基盤として、結論のみではなく、そこに至る過程も段階的に説明しうる力を養うことが、本講義の目的である。</p>						
到達目標	<p>① 労働法の各論点における法的意義・要件・効果等を把握する。</p> <p>② 労働法上の概念や論理等を言葉で表現し、他者へ説得的に説明しうる。</p> <p>③ 労働法の争点においては、複数の結論が併存しうることを許容できる。</p>						
回	学習内容		回	学習内容			
1	ガイダンス／労働基準法の意義・目的		16	労働時間			
2	労働基準法等の適用対象		17	休憩／休日／変形労働時間制等			
3	均等待遇／雇用における男女平等		18	時間外労働／休日労働			
4	強制労働禁止／中間搾取排除／公民権行使保障		19	年次有給休暇			
5	労働契約の意義・期間		20	就業規則			
6	更新拒否（雇止め）からの保護／採用内定		21	懲戒処分			
7	試用期間／配転／出向		22	妊産婦等の保護／労災補償			
8	転籍／労働者派遣		23	労働組合の法的規制			
9	昇格／降格		24	労働組合の内部問題			
10	解雇		25	不当労働行為			
11	定年／退職／解散等		26	団体交渉			
12	労働契約上の権利・義務／就労請求権／業務命令		27	労働協約			
13	休職／競業禁止義務／秘密保持義務等		28	争議行為			
14	賃金の法的保護／休業と賃金		29	組合活動			
15	退職金／賞与／賃金カット		30	試験／講評			
予習内容 復習内容	<p>受講生みずからが、配布されたレジュメを事前に一読すること等により予習し、授業において書き記した内容をノートに整理すること等により復習する。</p>						
教科書	<p>教科書は指定せず、上記のとおり、レジュメを使用する。第1回授業にて「参考文献一覧」を提示する予定であるが、ひとまず、森戸英幸『プレップ労働法 [第6版]』（弘文堂、2019年）を推奨し、挙げておく。</p>						
成績評価	<p>平常点 30%（各回のリアクションペーパー提出 1点×30）、試験 70%（五肢選択問題 10点・空欄補充問題 20点・論述問題 40点）により評価する（ただし、3分の2以上の出席を要する）。</p>						
実務経験							
その他 特記事項	<p>受講に際しては、知識や論理等をインプットするだけでなく、それらを言葉や文章でアウトプットできるよう意識してほしい。また、レジュメ等に目を通して、企業の実情や訴訟当事者のやり取りを想像・思考してほしい。</p>						